

—— 杉とゆく懐かしい未来 ——

obisugi design

日南市から発信する飼肥杉プロダクト

(手前左より) *ASHIKARA chair (P.3) *SUGIKARA table2410 (P.9) *SUGIKARA high-stool (P.7) *SUGIKARA stool (P.7) *ASHIKARA partition (P.3) *ASHIKARA ROD armchair (P.5) *obiza no.5 (P.8)



■ 飢肥城(飢肥)

obisugi design とは

飢肥杉の存在は、日南にとってはきわめて日常であり、平凡であり、生活の中に当たり前がありました。

私たちは、このプロジェクトにおいて様々な領域のメンバーでチームをつくり、そうでなくなった理由を見つめ直し、何をすべきか話し合ってきました。そして今までのような、単にメーカーとデザイナーによる商品開発ではなく、飢肥杉を含めた地域そのものを発信していくことが大切だと考えました。

おおらかで素朴な飢肥杉の性質をそのまま生かし、必要以上に無理をせず、日南ならではの使い方やしつらえを生かした製品を自分たちで作っていきたいと思っています。これが"obisugi design"です。

この考え方が、私たちの日常にもう一度、飢肥杉を普通に存在させる力になると思っています。

日南と飢肥杉

宮崎県の南部に位置する日南市。旧飢肥藩の時代から400年の歴史を持つ飢肥林業の中心として知られています。この地で生産される飢肥杉は、油分が多く弾力性のある特長から良質な造船材として取引され、最盛期には国内はもちろん、韓国や中国にも大量に輸出されるなど、かつては市の経済を潤し活力を与える源となっていました。

しかし、昭和の後半に木造船の需要がなくなると飢肥林業は急速に衰退し、現在では先人達が残した広大な飢肥杉の山々は残るものの、かつて飢肥杉で発展し賑わったまちは、遠い昔になりつつあります。

そうしたなか、あるイベントを契機に飢肥杉を地域資源としてもう一度見直そうという機運が高まり、平成19年には市役所内に「飢肥杉を核としたまちづくり」を推進するプロジェクトチーム、通称飢肥杉課が誕生しました。

現在もその活動は続いており、民間と行政がそれぞれの強みを生かしながら、林業の枠にとらわれることなく、まちづくりのいろんなシーンで飢肥杉をキーワードに、様々な事業やイベントを展開しています。「かつて栄えた」という言葉をなくすために。



油津貯木場全景 (昭和10年頃)
堀川の周辺は、河野家や服部家、川越家など、飢肥の代表的な山林家の貯木場として使用されました。



油津貯木場における「山の幸」 「南日向大観」昭和10年所収

*ASHIKARA chair

ASHIKARA series

2階

スリムなスチール製のフレームに、曲面加工した鉄肥杉を組み合わせたシリーズです。凛としたフォルムは、オフィスでも店舗でも、またご家庭でもお使いいただけます。

Designed by Katsushi Nagumo

■ 日南市役所 議会棟（吾田）

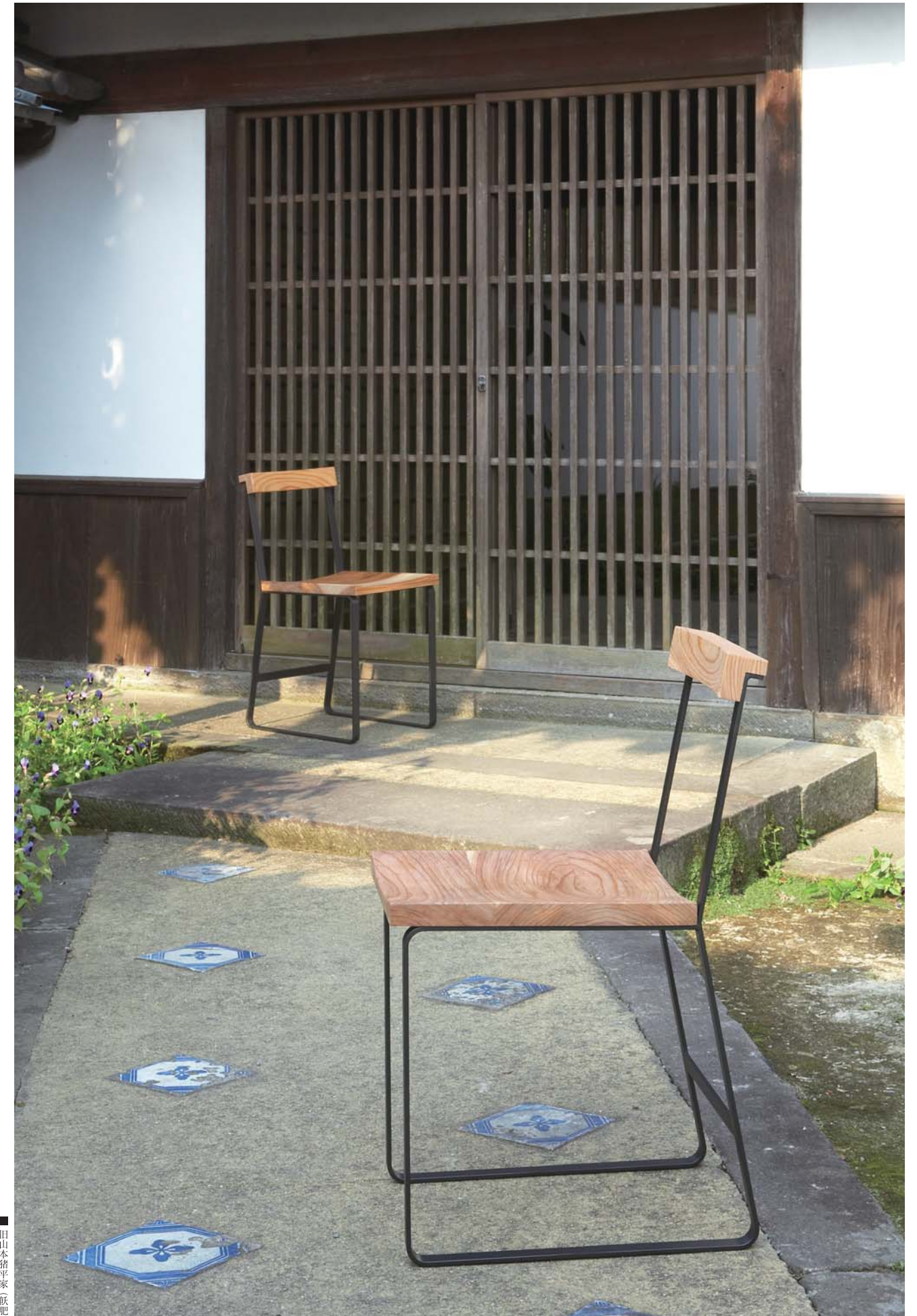


ASHIKARA chair w355×d500×h765×sh450 (mm)

ASHIKARA high-chair w355×d485×h920×sh650 (mm)

ASHIKARA partition w1210×d400×h1500 (mm)

*ASHIKARA chair



■ 旧山本猪平家（鉄肥）

(左より) *ASHIKARA ROD high-stool *ASHIKARA ROD stool *ASHIKARA ROD L-stool



ASHIKARA ROD series

座面の鉄肥杉は三次元加工されており、やさしい座り心地です。スリムなスチール製の脚と鉄肥杉のシンプルなデザインです。

Designed by Koichi Wakasugi



油津赤レンガ館(油津)



ASHIKARA ROD stool φ270×h450 (mm)



ASHIKARA ROD L-stool φ450×h380 (mm)



ASHIKARA ROD high-stool φ270×h650 (mm)



ASHIKARA ROD armchair φ360×h680×sh450 (mm)



ASHIKARA ROD table900φ φ900×h720 (mm)

(手前より) *ASHIKARA ROD stool *ASHIKARA ROD table900φ *ASHIKARA ROD armchair



油津赤レンガ館(油津)

(左より) *ASHIKARA high-chair (P.3) *ASHIKARA chair (P.3) *SUGIKARA bench *SUGIKARA stool *SUGIKARA high-stool



SUGIKARA series

座面に2枚の板を組み合わせた、シンプルで座りやすいツールです。座と脚のジョイントには「蟻接ぎ」を使用しており、長期間の使用にも安心です。

Designed by Katsushi Nagumo

豫章館(鉄肥)



SUGIKARA stool w400×d250×h400 (mm)

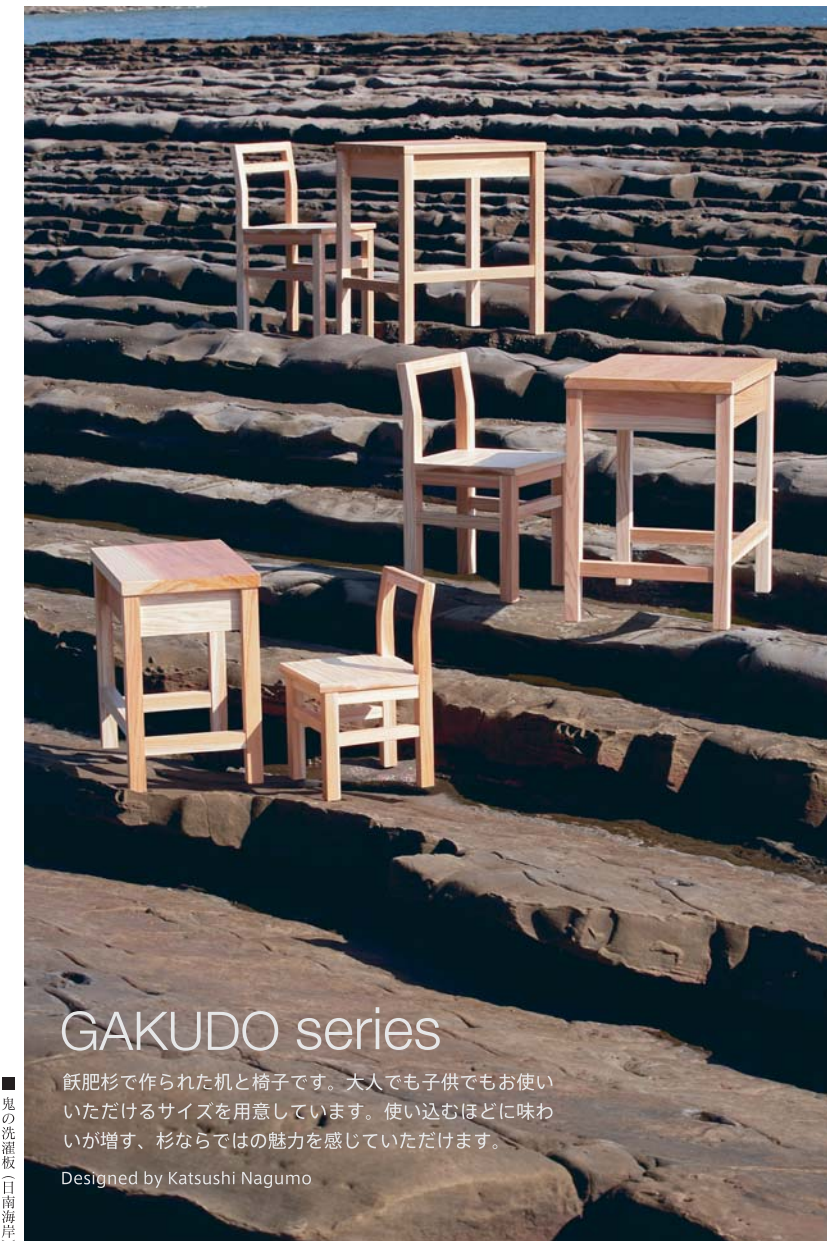


SUGIKARA high-stool w400×d300×h600 (mm)



SUGIKARA bench w1800×d300×h400 (mm)

(手前より) *obidai no.1 *obiza no.1 *obidai no.3 *obiza no.3 *obidai no.5 *obiza no.5



GAKUDO series

鉄肥杉で作られた机と椅子です。大人でも子供でもお使いいただけるサイズを用意しています。使い込むほどに味わいが増す、杉ならではの魅力を感じていただけます。

Designed by Katsushi Nagumo

鬼の洗濯板(日南海岸)



obiza no.5 w355×d453×h765×sh450 (mm)



obiza no.3 w290×d350×h580×sh340 (mm)



obiza no.1 w235×d273×h445×sh260 (mm)



obidai no.5 w650×d450×h720 (mm)



obidai no.3 w550×d400×h580 (mm)



obidai no.1 w450×d300×h460 (mm)

(手前より) *ASHIKARA ROD armchair (P.5) *SUGIKARA table945 *SUGIKARA table1845 *ASHIKARA ROD stool (P.5)



SUGIKARA table series

鉄肥杉の表情を生かした、スタンダードなテーブルシリーズです。ワークテーブルや受付テーブルとして、またダイニングテーブルとしてもお使いいただけます。

Designed by Katsushi Nagumo

■ 日南市文化センター (吾田)

(左より) *SUGIKARA stool (P.7) *ASHIKARA chair (P.3) *SUGIKARA table1880 *obibako400 (P.11)



SUGIKARA table2410 w2400×d1000×h720 (mm)



SUGIKARA table1880 w1800×d800×h720 (mm)



SUGIKARA table1845 w1800×d450×h720 (mm)



SUGIKARA table1570 w1500×d700×h720 (mm)



SUGIKARA table945 w900×d450×h720 (mm)

FU-BUTSU series

日南の風物詩をかたちにしたシリーズです。屋台は新しいコミュニケーションを生み出します。家庭内で使えるちゃぶ台や、トレーなどの小物類も多数ご用意しています。

Designed by Katsushi Nagumo



堀川運河(油津)



obiten+ w2000×d840×h1900 (mm) ※組み立て時



obibako400 w400×d400×h400 (mm)



obitaku(kaku) w1200×d800×h350 (mm)



obibako800 w800×d400×h415 (mm) ※蓋付き



obitaku(maru) φ900×h350 (mm)



sakebako no.10 w427×d255×h440 (mm)



sakebako no.5 w348×d205×h329 (mm)



obibuta w660×d330×h132 (mm)



morobuta w850×d350×h65 (mm)



chorozen w420×d270×h16 (mm)



choroita w420×d270×h35 (mm)



chorohako w95×d95×h95 (mm)



obimakura w250×d125×h88 (mm)



■ マグロ用のトロ箱

かつて、日南の経済と活力は、飢肥杉に支えられていました。杉のある暮らし、杉のある風景、杉の感触、杉の匂いは、現代人の私たちのDNAにも深く刻み込まれているはずですが、いま、弱い立場にある飢肥杉を支えたい、守りたい。これからは山だけじゃなくて、街や住まいを杉だらけにしたい。杉の良さや杉の使い方を提案したい。

二家に一台、杉の家具をキャッチフレーズに。杉を通して生活のさま、生きさまが見える街へ。

日南飢肥杉デザイン会は、まちづくりから、製品開発、新たな使い方の提案までの一貫した活動を行っています。



【飢肥杉デザイン会について】

飢肥杉デザイン会は、日南市と地元の木工・建具・製材・林業や、木材関係者以外のメンバー、そして株式会社内田洋行、ナグモデザイン事務所が協同で行っているプロジェクトです。「飢肥杉」を媒介に、役所と企業とメーカーと市民が繋がり、家具開発だけにとどまらず、まちづくりに広がる展開を行っています。

【株式会社 内田洋行について】

株式会社内田洋行は、日本全国スギダラケ倶楽部(®)を支援し、杉の活用と、普及を行ってきました。それは、地域社会と関連し新しい価値や未来を作っていく、新しい繋がりが重要だと考えたからです。杉を通して豊かな未来や社会を目指し、日南市と内田洋行は、企業と地域社会の新しい関わりを模索しています。

※日本全国スギダラケ倶楽部は木の文化の普及を目指し設立された団体です。詳しくはホームページをご覧ください。http://www.sugidara.jp/

【お問い合わせ】

ご注文に際しては、右記電話番号もしくは FAX にてお問い合わせください。また、ご質問等ございましたらお気軽にお問い合わせください。

obisugi design

日南飢肥杉デザイン会

〒888-0004 宮崎県串間市大字串間 2324-1

みなみなか
南那珂森林組合

Tel. 0987-72-0259 Fax. 0987-72-2939

URL. http://www.obisugi-design.com/

Blog. http://obidara.exblog.jp/ (オビダラ日記～飢肥杉ダラケのまちづくり～)

事務局：日南市役所 飢肥杉課 (飢肥杉を活用した日南再生プロジェクトチーム)